

令和5年度平塚市イクボスプロジェクト 視聴アンケート結果

◆実施概要

日時：令和5年11月10日（金）9時～12月8日（金）17時

場所：オンラインによる動画配信

（テーマ）「選ばれる企業になろう！男性育休促進のポイント」

（講師）セントワークス株式会社

ワーク・ライフバランスコンサルタント 一之瀬 幸生 氏

（講演内容）

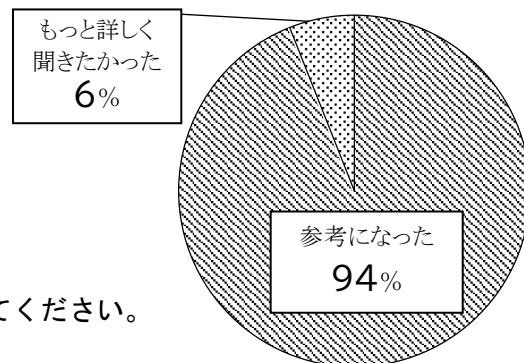
- 1 男性が育休を取得しやすい職場は、ワーク・ライフ・バランスの実現や働き方改革の推進だけでなく、女性活躍推進にも寄与されるものと考えられることから、男性育休の必要性や制度が求められる背景、中小企業でも実践できる具体の取組について講演いただいた。
- 2 イクボス宣言登録企業への事前アンケートの回答結果の紹介
- 3 イクボス宣言企業登録制度の紹介
- 4 イクボスプロジェクトの実施に賛同いただいたイクボス宣言登録企業名の紹介

◆事前申込者数 69人

◆アンケート結果（n=16）

1 講演の内容はいかがでしたか

回答項目	件数	割合
参考になった	15	94%
参考にならなかった	0	0%
もっと詳しく聞きたかった	1	6%



2 上記で選んだ項目について、どのような点が教えてください。

【「参考になった」と回答した方】

- ・男性育休について、ネガティブな面ばかりに目が向いていたが、ポジティブな面を知ることができた。お産にかかわる体調不良の原因について改めて認識することができた。産後鬱の原因についてよく認識できた。男性が育休を取り、育児に本当にかかわることで、人口問題に関する日本の現状や未来を良い方向に変えていくことができそうだと思えたし、企業としても真剣に取り組むべきメリットがあると思えた。
- ・半面、やはり零細企業にとっては極めて難しい問題であることも再認識させられた。人的な融通性においてほとんど個人経営と変わらない企業では、一人の従業員の長期休暇は、その企業の機能の一部停止と同じなので、企業全体への影響が大きく出てしまうことは避けられない。行政からの支援がぜひとも必要と思えるが、金銭面以外の支援の在り方も工夫が必要な気がします。
- ・会社全体の働き方改革対応に関わる内容について、具体的なヒントをうかがえたため。
- ・育休を取得したい男性が増えていること、また男性が育児に関わると第二子誕生が、関わらない場合に比べて8倍以上アップしている事に、長年の取り組みの成果が実を結んできている事が実感できた。講師がご自身の経験をもとに語られていて良かった。男性が育休を取得するメリットとして、男性本人の「幸福度」を上げることになる、また、企業がリーダー研修の一環と考え導入する、という視点が新しいと思った。

育休取得での業務分担について、社内の独身者や子供のいない人に負担が向かう傾向にあるという事が問題になっているが、その点についてもワークライフバランスの目標設定でチーム内で共有するという対応が示されているのが良かった。

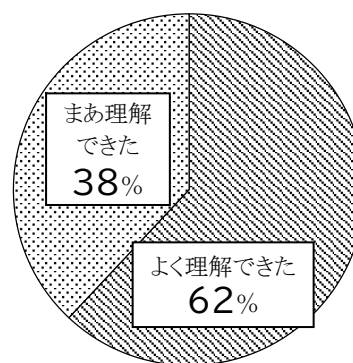
- ・ベテランは介護と仕事を両立する時代へ、ということで、まさに40代、50代の我々世代が直面している問題を具体的な資料をもとに実感できました。
男性の育休について、まだ身近に経験談がなかったので、参考になりました。今後若手社員が入社した場合、会社として必要な段取りやサポートをすることで、より働きやすい職場つくりにつながると良いと思いました。
- ・出産後の母体への影響が大きく、1か月の男性育休の取得を職場として目指せたらとの思いになりました。職員の職場への所属意識が高まることや子育てへ男性がより参加することで視野が広がること、職場の魅力アップによる人材確保ならびに退職者減にもつながること等、男性育休の効果の高さも学びました。また、家庭内の幸せにもつながり、ワークライフバランスの実現に向け効果が大きいとも感じました。家庭の経済的負担も結果として給与の2割減で済むことがわかり、より職場内での取得率向上を目指せたらと思います。
- ・チームで共有する情報としてのキャリアライフプランシートの話や個人のスキルマップなどは、活用できれば効果的だと思いました。
- ・家庭がある・なしに関わらず、職場環境を良くする上で何をしたらいいかの先に「男性育休取得」というゴールがあるということが分かった。
- ・法改正について知らないことが多かった。社員のメリットを改めて認識できたので。
- ・これからのチームマネジメントについて
- ・男性育休の必要性和、今後の社会への幅広い影響があると思いました。男性育休を取ることで持続可能な会社の成長にもつながると感じました。
- ・一之瀬氏の実際に育休取得までの状況やどういった取り組みをしたか、実際の育休期間等を体験談を交えて説明していただけたのがとても参考になった。
出産の身体的な負担は理解していたつもりだが、ホルモンバランスによるメンタルの変化などは動画を見て初めて知る内容が多く具体的にわかりよかった。女性の産後うつにならないためにも先手を打ちスムーズに男性育休を取得できるような会社づくりの重要性を学べた。
- ・部下の男性で育休の取得を検討されている方がいるので、具体的な業務の棚卸や周囲のフォロー体制について理解が進みました。
また、女性の体の変化や産後うつについても言及されているところが大変すばらしいと感じました。なぜフォローが必要なのか、理解が進みやすい内容です。
- ・他社の参考事例とかをもっと聞きたかったです。日本全国の例とか。。。

【「もっと詳しく聞きたかった」と回答した方】

- ・男性育休については必要性の説明が多いが、零細企業としてはもっと会社側の実務的なマニュアルを作って説明してほしい。各企業に専門家（社会保険労務士など）を派遣して各企業ごとの作成が望ましい。
今回の視聴で例えば給与保証が基本給だけでないことが分かったが、例えば給与15日締め当日25日払いの企業で20日から翌月10日まで育児休暇を申請された場合、給与計算はどのようにするのか、休業補償はどのような書式または方法でどこに申請するのかなどが新たに作られた言葉の理解も含めて複雑すぎて、育児休暇や育児休業よりも有給休暇の消化とした方が企業も本人も不利益を被ることがないように感じて積極的に勧めることができません。
その期間中の社会保険料も企業・本人とも払わなくてもよいなども実際の実務的には大変な作業量となると感じます。零細企業には労務の専門はいない場合の方が多く、社長や経理が業務の一部として抱えているため、その辺りの業務をもっとわかりやすくしてほしいと思います。

3 男性育休について、理解できましたか。

回答項目	件数	割合
よく理解できた	10	62%
まあ理解できた	6	38%
あまり理解できなかった	0	0%
理解できなかった	0	0%



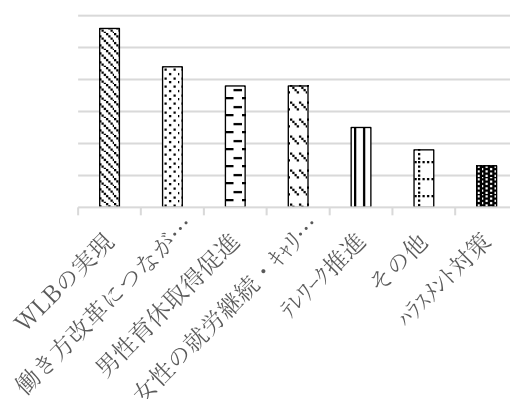
4 講師への疑問・質問

- ・給与の締め日を挟んで育休を取った場合は2か月分の社会保険料(健康保険・厚生年金・雇用保険)が免除されるのでしょうか。
- ・国として男性育休取得率向上が少子化対策につながり、経済活性化にもつながることがもう少し学べたらありがたく感じました。また、平塚市における男性育休取得率向上に向けた取り組みについて、イクボスをより広げるための施策等、助成金の存在を含め、検討中のものでも良いので情報提供があればうれしく思います。平塚市が子育て世代に選ばれる街となるよう一之瀬先生のお話をもっと多くの企業や商店等の皆様、福祉関係者の皆様、市民の皆様へ聞いていただけたら良いのにと感じました。非常にためになる素晴らしい講義でした。ありがとうございました。
- ・特にないですが定期的にこういう講習をお願い致します。

5 今後、どのようなテーマであれば講演会等に参加されたい・視聴されたいと思いますか。

(複数回答)

回答項目	件数	割合
ワーク・ライフ・バランスの実現	9	56%
働き方改革につながる ICT 活用	7	44%
男性の育休取得の促進	6	38%
女性の就労継続やキャリアアップ	6	38%
テレワークの推進	4	25%
その他	3	19%
職場でのハラスメント対策	2	13%

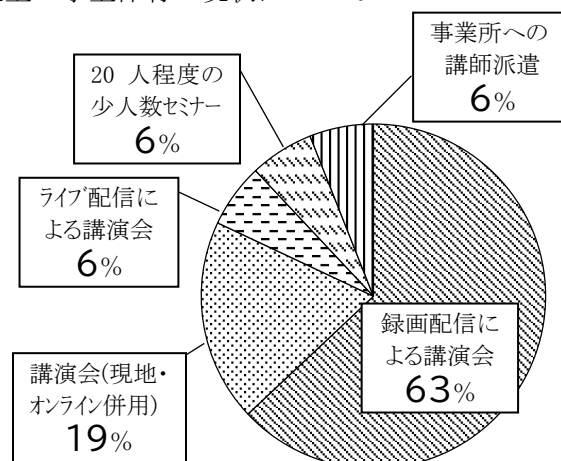


【「その他」と回答した方】

- ・定年延長や老人就労の促進について
- ・人生100年時代におけるシニアの就労環境の整備。今まで勤めていた会社での就労継続や、退職後の再就職の現状、意欲を生み出し、どう活躍の場を作っていくのか
- ・営業職や現場職の女性の就労継続や、小学生以降の児童の学童保育の現状について

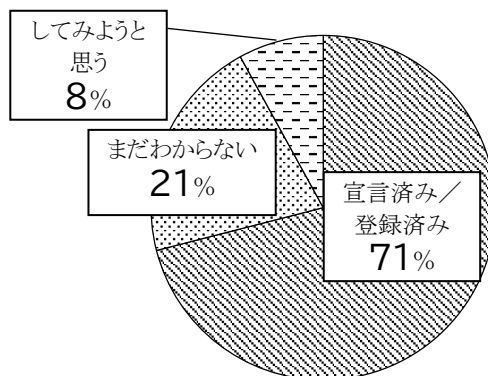
6 どのような開催方法が参加しやすいですか。

回答項目	件数	割合
録画配信による講演会	10	63%
講演会(現地参加・オンライン併用方式)	3	19%
ライブ配信による講演会	1	6%
20人程度の少人数セミナー	1	6%
事業所への講師派遣	1	6%
現地開催による講演会	0	0%
事業者組合等と共催での研修方式	0	0%



7 講演動画を視聴して、『イクボス宣言をしてみよう』、『登録制度に参加してみよう』と思われたか。(n=14)

回答項目	件数	割合
宣言済み／登録済み	10	71%
まだわからない	3	21%
してみようと思う	1	8%
しないと思う	0	0%



以上